



地域のこれからに向けて話し合いました



書類
番号

6

南区地区懇談会報告書

2025



主催 南区連合町内会長連絡協議会

目次

南区地区懇談会について／開催概要／今年度の特徴

1

地区懇談会の様子

2

各地区の開催概要

◆ 蒔田	3	◆ 大岡	11
住みよい街づくりに向けて地域に住んでいる皆が参加できる防犯活動			大岡地区をよりよい町に 未来に向けて		
◆ 中村	4	◆ 南永田山王台	12
自治会町内会運営について			令和の時代に求められる町内会・自治会の機能と役割		
◆ 井土ヶ谷	5	◆ 本大岡	13
① 各町内会の防災対策状況報告 ② 特殊詐欺について			住みよいまちづくり ～災害に強いまち～		
◆ 北永田	6	◆ 六ツ川大池	14
犯罪の起こらない安心安全なまちづくり			住みよい六ツ川大池「安心・安全な地域づくりとは」～いくつになっても安心・安全に暮らしていくためには～		
◆ 永田みなみ台	7	◆ 太田	15
認知症について			地域人材の育成・発掘(担い手不足、加入促進など)		
◆ 堀ノ内睦町	8	◆ 寿東部	16
堀睦地区の地域活性化について			① 身近な防災(家庭でできる防災) ② 寿東部地区多文化共生防災ネットワークの必要性について		
◆ 太田東部	9	◆ 別所	17
我が町の初期消火活動			地域の課題の現状について話し合おう		
◆ 六ツ川	10	◆ お三の宮	18
連合地域内福祉活動の実情認識と課題抽出			自治会・町内会活動を活発にするには～どんなデジタルツールがあるのか～		

参加者アンケート結果

19



南区地区懇談会について

南区地区懇談会は、昭和44(1969)年に『南区区政懇談会』として発足し、毎年開催されています。地域の皆さまが地域の課題を共有し、意見交換ができる場として、区内全16地区連合町内会のエリアごとに開催されており、南区の特徴ある取組の一つとなっています。開催にあたっては、各地区連合町内会が中心となり、事前の準備から当日の運営に至るまで、自治会町内会の多くの方々によって運営されています。

令和7年度地区懇談会は、5月9日(金)から6月27日(金)までの約2か月にわたり、全16地区連合で開催されました。その様子をまとめましたので、報告します。



開催概要

主 催	南区連合町内会長連絡協議会
開 催 期 間	令和7年5月9日(金)から6月27日(金)まで
開 催 地 区	16地区連合
議 論 方 法	グループ討議形式14地区／教室形式2地区
延べ出席者数	783名(地域589名、行政194名)



今年度の特色

今年度は「今後の地域活動の進め方」を議題にして、自治会町内会の加入促進などの課題について話し合った地区が多くありました。また、特殊詐欺や闇バイト関連のニュースをよく目にするようになったこともあり、「安全・安心」を議題に取り上げた地区もありました。

開催形式はグループ討議形式で行う地区が多く、活発な話し合いが行われました。



地区懇談会の様子

地区懇談会は、グループ討議と教室形式のいずれかで実施されています。それぞれの形式の特徴を紹介します。

グループ討議

ポイント

- ① 話し合いの前に、議題に関する自治会町内会の活動や取組を発表
→グループで話し合う論点がより明確になる
- ② 各グループに、複数の自治会町内会の方がいるように、割り振る
→様々な視点で意見交換ができ、顔見知りになれる
- ③ 司会者や発表者を事前に決めておく
→スムーズに進行できる

メリット

- ・発言し易い雰囲気活発な意見交換ができる
- ・全員が発言できる
- ・他の自治会町内会の方と顔見知りになれる



教室形式

ポイント

- ① 議題に関する区役所等の取組や制度を説明
→議題の背景がよりわかりやすくなる
- ② 各自治会町内会の取組を発表し、それぞれが抱える課題や工夫について共有
→他の自治会町内会の様子がわかる、より具体的な議論ができる
- ③ 座長から具体的な質問を投げかける
→質問のポイントを絞ることで意見が出やすくなる

メリット

- ・全員が一度に情報を共有できる
- ・来場者数の変化に対応しやすい





住みよい街づくりに向けて地域に住んでいる皆が参加できる防犯活動

日時 5/9(金)19:00~

会場 ビエラストジオ蒔田

参加者 31人



開催趣旨

「闇バイト」や特殊詐欺に関するニュースが多く報じられるなど、犯罪が身近になりつつある今、防犯について考え、日常生活の中でできることを共有するための場として、開催しました。

蒔田連合町内会 茅野 繁 会長



内容

【講義 南警察署生活安全課】

南区内の犯罪発生状況や特殊詐欺・闇バイトの実態について説明がありました。

【防犯クイズ】

防犯に関するクイズにみなさんと挑戦しました。

【グループ討議】

1人1人やみんな(地域)のできる防犯活動について、今行っていることや今後取り組みたいことを話し合いました。



参加者の声

- ・地域でのパトロールは、かなり防止力があります。顔を合わせる良い機会にもなるし、防犯灯が切れていることに気づけたりもします。
- ・他の町内の防犯活動の状況や取組方法を聞いて良かったです。
- ・地域の課題に対し、人々が話し合い意識を共有することに意義があります。

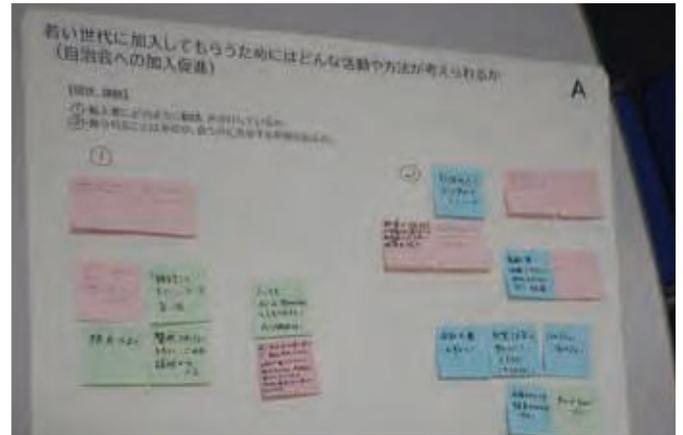


自治会町内会運営について

日 時 5/13(火)18:30~

会 場 区役所1階多目的ホール

参加者 45人



開催趣旨

地域行事の担い手不足や自治会役員等の高齢化など、地域の課題について、現状を共有し、できることを考えていく場として、開催しました。

中村地区連合町内会 吉井 肇 会長



内容

【グループ討議(3テーマ)】

- ①自治会への加入促進(A・Bグループ)
- ②コミュニケーションの促進(C・Dグループ)
- ③活動の魅力づくり(E・Fグループ)

グループに割り振られたテーマについて、課題や今後行っていきたいことなどについて話し合いました。



参加者の声

- ・朝のラジオ体操の場で安否確認などを兼ねて、コミュニケーションをとるようにしています。
- ・若い人(中学生)や子どもを持つ親をまき込んだ会を実施したいです。
- ・どこの地域も同様の課題を抱えている。できることから地道に活動を進めていくことが大切かと思います。
- ・みんなが「真剣」で同じ思いを持っていることが、心強かったです。



①各町内会・自治会の防災対策
②特殊詐欺について

日 時 5/15(木)18:30~

会 場 ビエラストジオ蒔田

参加者 45人



開催
趣旨

井土ヶ谷地区では災害時、エリアによって起こりうる被害が異なることから、各地区の防災対策を共有しました。また、近年増加している特殊詐欺等について事例や対策を学び、地域の防犯意識を高める場としました。

井土ヶ谷地区連合町内会 河野 正敏 会長



内容

【報告 各町内会の防災対策】

防災対策委員会の資料をもとに、令和6年度の実績報告と令和7年度の計画について、各町内会が発表しました。

【講義 南警察署生活安全課】

特殊詐欺の傾向とその対応策について説明がありました。説明の合間には、地域の方が被害者役となった寸劇も行われました。



参加者
の声

- ・防災対策については、ちょうど町内会で訓練を終えたばかりだったので身近に感じられました。
- ・特殊詐欺の手口が巧みになっていてびっくりしました。勇気をだして声掛けすることも大切だと思いました。
- ・寸劇で学べてわかりやすかったです。



犯罪の起こらない 安心安全な街づくり

日 時 5/17(土)18:00～

会 場 永田小学校体育館

参加者 60人



開催 趣旨

北永田地区では高齢化が進み、事件発生の可能性が高くなっています。特殊詐欺の実態と対策について共有し、安心安全な街づくりのために、自治会町内会でできることについて、話し合いました。

北永田地区連合町内会 紙透 功 会長



内容

【グループ討議(4テーマ)】

- ①近所の方、親戚、友人が特殊詐欺に合いましたか。(未遂も含む)
- ②どのような人が騙されやすいと思いますか。
- ③日頃、詐欺に合わないために、どのような対策をしていますか。
- ④個人や自治会・町内会として、どのような活動をしたら良いですか。

【講義 南警察署生活安全課】

- ①特殊詐欺の事例と対策
- ②闇バイトについて(啓発と対策)



参加者 の声

- ・息子や警察を名乗る電話、屋根やシロアリ駆除の訪問など、身近に起こっている詐欺体験を共有することができました。
- ・高齢の一人暮らし、信じやすい人が騙されやすい。まずは、家族や警察に相談することが大事だと気づきました。
- ・断るためマニュアル(詐欺撃退)の作成など、地域全体で注意喚起をしていきたいです。



開催趣旨

近年、認知症は増えており、誰でもなり得る病気です。
認知症について、正しい知識と理解を持つために、医学的な視点から話を聞く場としました。認知症の方やその家族を支えていくために、地域で何ができるか、皆さんと考えていきたいと思ひます。

永田みなみ台連合自治会 常木 敬司 会長



内容

【講義 けやき在宅クリニック 院長 中村 祐介氏

看護師 菊池 美穂氏】

「認知症とは何か～医学的な視点から～」というテーマで説明がありました。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① 認知症行動の症例 | ⑤ 偏見をなくすには |
| ② 認知症の方への対応 | ⑥ 個人(家族)でできること |
| ③ 認知症の判断 | 地域でできること |
| ④ 適切な機関へつなぐ仕組み | ⑦ 質疑応答 |



参加者の声

- ・専門家から説明していただいたことがよかったです。
- ・情報を共有し、地域で協力しあうことが大切です。
- ・抱え込まず、困った時は相談することが必要だと思ひました。
- ・地域のつながりや見守り、声かけが重要だとあらためて感じました。



堀睦地区の地域活性化について

日時 5/23(金)19:00～

会場 睦コミュニティハウス

参加者 38人



開催
趣旨

今後の地域の活性化につなげていくため、参加者の皆さんが、堀睦地区の現状や課題、対策についてアイデアを共有する場として開催しました。

堀ノ内睦町連合町内会 四方田 信和 会長



内容

【グループ討議(4テーマ)】

- ① 若い世代に加入してもらうための活動や方法について
 - ② 住民にとって魅力的な自治会町内会活動について
 - ③ 地域活動の担い手になってもらう方法について
 - ④ 住民同士の交流を深めるための活動や情報共有の方法について
- グループに割り振られたテーマについて、課題や今後行ってきたいことなどについて話し合いました。



参加者
の声

- ・他の町会の取組を知り、参考になりました。これからは、他の町内会とも力を合わせる必要があると感じました。
- ・若い世代に地域活動に参加してもらうために、防災訓練と催しを一緒に開催する複合型の防災訓練を開催しても良いのではと思います。



我が町の初期消火活動

日 時 5/24(土)18:00~

会 場 西中・前里一二・白金一町内会館

参加者 37人



開催
趣旨

昨今、全国のいたるところで大地震が起こっており、同時に火災も発生しています。平時の消防員の消火活動は大震災時には期待できず、初期消火や延焼防止は地元で行うことが大切です。消火栓や消火箱の場所を確認し、各町内会や近隣の町会でできることを話し合いました。

太田東部連合町内会 木曾川 一三 会長



内容

【講義 南消防署】

火災発生予防とその対策について

【事例紹介 三春の丘まちづくり協議会】

防災まちづくり計画図(マップ)、避難経路の整備、防災倉庫やかまどベンチの設置、防災イベントの実施について 等

【グループワーク】

<作業> 消火栓・消火箱の確認(地図にマークする)

<討議> 初期消火や延焼防止のために各町内会でできること



参加者
の声

- ・マップは避難経路、避難場所などが一目で分かるのでよいです。
- ・消火栓、消火箱の場所や数をあらためて確認できて良かったです。
- ・初期消火のためには、訓練の積み重ねが重要だと分かりました。
- ・近隣の町内会と協力し、防災活動に努めたいです。



連合地域内福祉活動の 実状認識と課題抽出

日 時 5/31(土)18:00~

会 場 六ツ川一丁目コミュニティハウス

参加者 22人



開催
趣旨

六ツ川地区内で行われている様々な福祉活動について、各自治会町内会長にも認識を深めていただき、それぞれの活動で課題となっていることに対して検討する場としました。

六ツ川地区連合自治会 田中 克彦 会長



内容

【説明 六ツ川地区の主な福祉活動について】

六ツ川地区社会福祉協議会や民生・児童委員が中心となって実施している福祉活動の内容や課題について、田中連長より説明がありました。

【グループ討議】

説明を受けて感じたことや、課題に対する提案をグループごとに検討しました。特に近年、参加対象者が増えている「おしゃべり会」の課題を中心に意見交換が行われました。



参加者
の声

- ・おしゃべり会への理解を深めることができました。
- ・自分の知らない活動がたくさんあることが分かりました。
- ・特に、民生・児童委員に多くのことが偏っているという実態を把握することができました。



大岡地区をよりよい町に 未来に向けて

日 時 6/1(日)13:30~

会 場 大岡地区センター

参加者 49人



開催
趣旨

地区懇談会では、昨年度まで3年間、大岡地区をよりよい町にするために話し合いを行ってきました。今年度は、これまでに話し合ったことも参考にしながら、10年後の未来に向けて、これからやってみたいことなどについて話し合いました。

大岡地区連合町内会 浅田 稔 会長



内容

【報告 令和6年度の活動報告について】

「ふれあいまつり」や「音楽祭」など大岡地区で実施したイベントについて、浅田会長や関わった方から説明がありました。

【グループ討議】

よりよい町にするためにできるイベントやその影響について話し合いを行いました。各グループ、理想の町の姿やあったらいいもの、また地域の課題など、情報交換しながら、意見をまとめていました。



参加者
の声

- ・イベントを続けることで、顔の見える関係がしてくれるので、今後も頑張っていきます。
- ・大人から子ども世代まで参加があり、いろいろな意見を聞くことができました。



開催 趣旨

「町内会や自治会は必要なのか」「どのようなことを行っているのか分からない」など、存在意義が問われています。町内会・自治会の現状と課題を共有し、加入促進や地域活性化のための取組を話し合いました。

南永田山王台連合町内会 味知 嘉次 会長



内容

【事前アンケートの報告】 今後の町内会・自治会に求められる機能や役割を考える上で、町内会活動の内容や町内会が地域生活に貢献していることを認知するためのアンケートを実施しました。

【グループ討議】

- ① 若い世代の新規加入促進
- ② 高齢化に伴う町内会の役員不足

【講義 松岡 文和さん(元横浜市職員、自治会役員経験者)】

「これからの自治会町内会～楽しく、自身が成長できる活動に～」というテーマで、自治会組織の分社化等についてお話がありました。



参加者 の声

- ・若い人が地域の活動に参加するためには、企業、NPOなどと協働してはどうだろうか。
- ・役員の負担軽減のため、定期的に交代する仕組みがあるとよいです。
- ・講師の話が胸にささった。分社化を参考にしたいと思いました。



住みよいまちづくり ～災害に強いまち～

日 時 6/7(土)18:00～

会 場 大岡地区センター

参加者 38人



開催 趣旨

災害時に地域で助け合えるまちが「災害に強いまち」であると考え、昨年度から「自助・共助」について検討をしています。今年は「自助・共助」のより具体的な方法について検討する場としました。

本大岡地区町内会連合会 根本 守 会長



内容

【説明 地域での取組について】

はじめに、第一大岡町内会の伊藤会長から、これまでの災害を振り返りながら「自助・共助」の必要性について説明がありました。

次に、若宮3・4丁目町内会防災部の渡会さんから、防災部の活動紹介や「地域の受援力」の必要性について説明がありました。

【グループ討議】

「災害時、地域全体で支え合うためにできること」をテーマに、6つのグループでアイデアを出し合いました。「日頃から近所の方と顔なじみの関係になる」ことが大切であるという意見が多く出ました。



参加者 の声

- ・具体的な防災対策の必要性を感じることができました。
- ・防災意識が高まり、地域の方と交流ができて良かったです。
- ・防災についてあらためて考える良い機会になりました。
- ・災害時にどうしたらよいか、色々と参考になりました。



住みよい六ツ川大池
「安心・安全な地域づくりとは」
～いくつになっても安心・安全に
暮らしていくためには～

日 時 6/12(木)18:00～

会 場 六ツ川大池地区連合自治会館

参加者 36人



開催
趣旨

民生・児童委員や老人クラブの活動を知ってもらい、全ての世代が、この先いくつになっても六ツ川大池地区で安心・安全に暮らしていくための検討をする場として開催しました。

六ツ川大池地区連合自治会 佐藤 正俊 会長



内容

【説明 地域での取組について】

民生・児童委員として活動されている小川副会長と、老人クラブの伊東さんから、それぞれ活動内容の説明がありました。

【グループ討議】

「いくつになっても安心・安全に暮らしていくためには」をテーマにグループで話し合いを行いました。“向こう三軒両隣”の気持ちや顔の見える関係づくりが大切だという意見が多く出ました。

【学校からのお話】

地区内4つの小中学校の先生から地域との関わり等についてお話があり、子どもへの声掛けや挨拶の大切さについて再認識しました。



参加者
の声

- ・地域の活動が知れて、地域の皆様とお話できて良かったです。
- ・先生からの「子どもたちに声掛けしてください」という言葉で積極的に声をかけようと思いました。



地域の人材の育成・発掘 (担い手不足、加入促進など)

日 時 6/13(金)19:00~

会 場 ビエラストジオ蒔田

参加者 28人



開催趣旨

地区では、自治会町内会をはじめ、さまざまな活動が行われています。ただ、こうした活動のほとんどがボランティアです。地域活動の大切さを知っていただき、それを担う人材発掘をどう進めていくのが良いか、皆で話し合う場としました。

太田地区町内連合会 岩田 力 会長



内容

【事前アンケートの報告】 地域の人材育成・発掘について各自治会町内会の現状を発表しました。(一部紹介)

- ①課題 役員の高齢化・兼務・後継者不足
- ②対策や計画 グループLINEで情報共有・イベント開催
- ③他の町内会に聞いてみたいこと 役員募集の事例・集金の工夫
- ④成果 町内会概要を配布することで活動に興味を持ってもらった

【グループ討議】

「担い手不足解消」と「新規加入者促進」のアイデアについて、意見を出し合いました。



参加者の声

- ・町内会会員になるメリットをPRをする。
- ・イベントを通して参加のきっかけを作ることが大切。
- ・活動には報酬も必要ではないか。



①身近な防災(家庭でできる防災)
②寿東部地区多文化共生防災ネットワークの必要性について

日時 6/23(月)19:00~

会場 区役所7階会議室

参加者 46人



開催趣旨

発災時、「すぐに地域防災拠点に行き、そこで過ごさなければならない」という認識が多い中、実際は在宅避難が中心となることが見込まれるため、家庭内の防災をあらためて見直しました。また、外国籍住民も安心して避難等ができる仕組みづくりについて検討しました。

寿東部連合町内会 渡邊 真一 会長



内容

【説明】

- ① 発災直後から在宅避難までの基本的な流れや必要な備えについて鈴木副会長と各町内会の会長から説明がありました。
- ② 言葉や文化の異なる外国籍住民の方々は発災時に情報収集や避難に戸惑うことや、それに対応するためのネットワークづくりの必要性について、浅野副会長から説明がありました。

【グループ討議】

外国籍住民の方々が困らないために、町内会ができることについてグループごとにアイデアを出し合いました。



参加者の声

- ・多言語に対応したアプリやウェブサイトの作成は良いと思いました。
- ・町内会の行事等に参加してもらうなど、日頃から外国籍の方と顔なじみの関係になることが大切だと思いました。



地域の課題の現状について 話し合おう

日 時 6/25(水)18:00~

会 場 別所コミュニティハウス

参加者 37人



開催 趣旨

別所地区のかかえる課題について、みんなで話し合い、共有し、これからの地域のあり方について、地域全体で考えるきっかけづくりの場として開催しました。

別所地区連合町内会 高野 静子 会長



内容

【事前アンケートの報告】

事前に地域で行った、地域の課題に関するアンケートの集計結果について、黒住会長から説明がありました。

【グループ討議(4テーマ)】

- ① 誰もが過ごしやすい地域にしたい
- ② 安心して通勤・通学お出かけできる地域にしたい
- ③ ご近所同士おもいやりの持てる地域にしたい
- ④ 若い方など新しい方を地域活動に取り込みたい

グループに割り振られたテーマについて、課題や取り組みたいことなどについて話し合いました。



参加者 の声

・地域で問題になっていることを確認することができ、回答が得られたものもあったのでよかったです。

・活発な意見交換ができ、まだできることがあると感じました。



自治会・町内会活動を活発にするには ～どんなデジタルツールがあるのか～

日 時 6/27(金)18:00～

会 場 お三の宮地区連合町内会館

参加者 24人



開催趣旨

担い手不足や高齢化、単身者向けマンションの増加などにより住民同士の関係が希薄化していることから、自治会町内会活動を活発化するための検討の場としました。今回はその手段の一つとして広報等のデジタル化について学びました。

お三の宮地区連合町内会 米田 裕信 会長



内容

【講義 株式会社LOCAL JAPAN 頼栄明さん】

デジタル化がどのように役立つのか、また実際にデジタルを導入している自治会町内会の事例について、説明がありました。

【グループワーク・質疑応答】

説明を聞いて感じたこと等についてグループで話し合いました。すでに役員同士はLINEを利用している町内会が多く、HPを運用している町内会もありました。質疑応答では、他地区の事例に触れながら、デジタルの得意な方だけに任せるのではなく、役割分担を工夫すれば地域全体で取り組むことができるという話が出ました。



参加者の声

- ・デジタルの必要性が理解できました。
- ・様々なツール紹介や効果、課題等が理解できて今後参考にしたいと思いました。



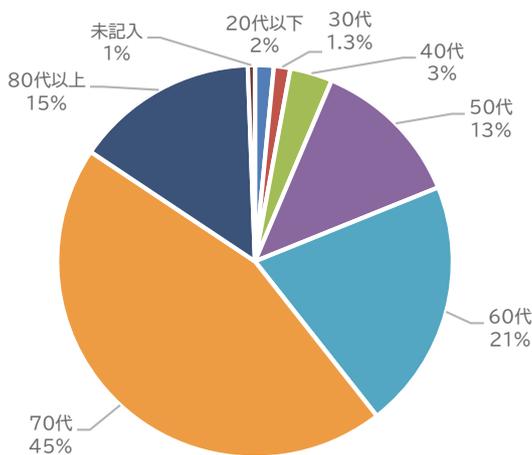
参加者アンケート結果

地区懇談会のあり方や、運営方法の改善等について検討するため、地区懇談会に参加された方々にアンケートを実施しています。今年度も、参加者の約9割の方々から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

- アンケート配付者数 589名(令和6年度 588名)
- アンケート回収率 88%(令和6年度 88%)
- 回答総数 520件(令和6年度 520件)

参加者の年代

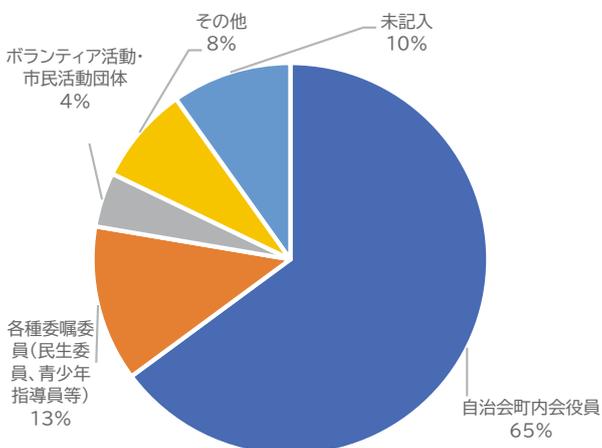
(選択肢) 20代以下・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上



60代と70代で全体の半数以上を占めています。一部の地区において、10代～40代の方の参加もありました。

地域との関わり

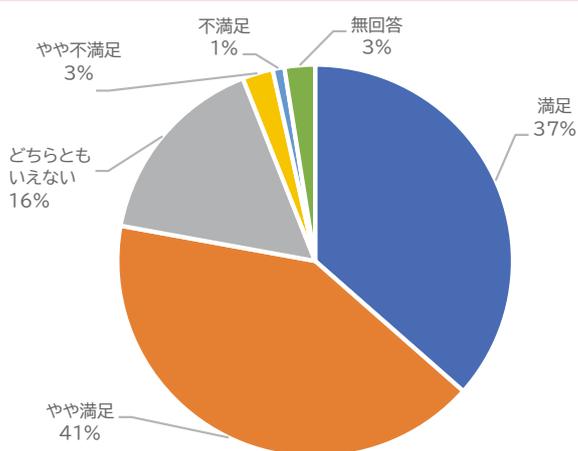
(選択肢) 自治会町内会役員・各種委嘱委員・ボランティア活動、市民活動団体・その他



「自治会町内会役員」が約7割を占めています。そのほか、元自治会役員や子ども会、老人会の方が参加した地域もありました。

1 地区懇談会に参加してみて、以下がでしたか

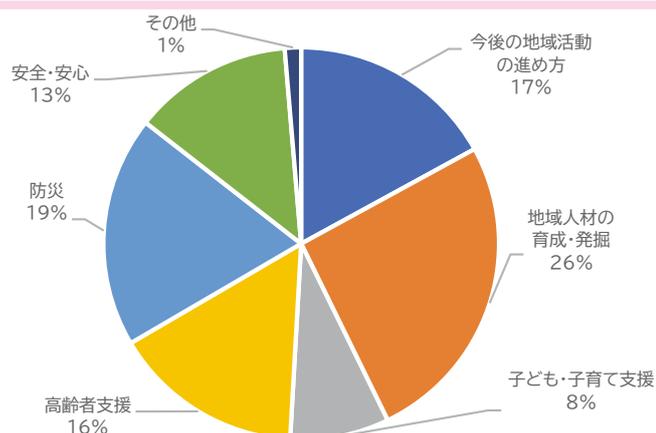
(選択肢) 満足・やや満足・どちらともいえない・やや不満足・不満足



「満足」または「やや満足」と回答した方は、約8割でした。『他の地区の方のお顔が知れて良かった』『いろいろな方の意見が聞けて良かった』などの感想がありました。

2 今後、地域で共有したい課題やテーマはありますか(複数回答可)

(選択肢) ① 今後の地域活動の進め方 ② 地域人材の育成・発掘 ③ 子ども・子育て支援 ④ 高齢者支援 ⑤ 防災 ⑥ 安全・安心 ⑦ その他



「地域人材の育成・発掘」が最も高い割合になっています。その他では、「ごみ問題」、「自転車マナー」、「学校同士の交流」などがありました。

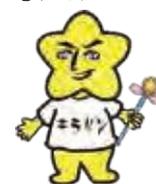
地域の力応援部長キラリンの「ちょこっと」コラム

近年、多くの自治会町内会が「役員の高齢化」と「担い手不足」という二重の課題に直面しています。長年地域を支えてきたベテラン役員の高齢化が進む一方で、若い世代の参加は伸び悩み、運営の持続可能性が危ぶまれています。

背景には、ライフスタイルの多様化や地域への帰属意識の希薄化があります。共働き世帯の増加や個人の趣味や家族との時間を優先する傾向が高まる中で、「自治会町内会活動に時間を割く余裕がない」という声も少なくありません。

しかし、自治会町内会は防災・防犯、地域交流、福祉支援など、住民の暮らしを支える重要な役割を担っています。今こそ、役員の負担軽減や柔軟な参加形態の導入、デジタルツールの活用など、新しい運営スタイルへの転換が求められています。

地域の未来を守るために、世代を超えた協力と工夫が必要です。小さな一歩が、大きな変化につながるかもしれません。





発行 令和7年9月
事務局 南区地域振興課地域力推進担当